

# ITが人と社会にできること

Nihon Unisys Group CSR Report 2005

日本ユニシスグループ CSR報告書 2005

**UNISYS**

社長メッセージ 1  
日本ユニシスについて 2  
特集 お客さまが考えるCSR 4

～株式会社ジャパネットたかた・高田 明 氏～

日本ユニシスグループのCSR 8

- ・ CSRコンセプト
- ・ CSR推進体制と役割
- ・ コーポレート・ガバナンス
- ・ 情報セキュリティ
- ・ コンプライアンス
- ・ リスク管理

事業活動を通じたCSRへの取り組み 16

日本ユニシスグループと社会との関わり 20

- ・ 従業員との関わり
- ・ 社会との関わり

日本ユニシスグループと環境との関わり 24

- ・ 環境との関わり
- ・ 環境方針と推進体制
- ・ ISO14001認証取得状況
- ・ 法規制の順守と環境教育
- ・ エコオフィス活動の目標と実績
- ・ IT企業としての環境推進活動
- ・ 環境サービス事例

ステークホルダーコミュニケーション 32

第三者所感 33

日本ユニシスグループ「CSR報告書」  
GRIガイドライン対照表

本報告書の作成にあたり、GRIガイドライン2002年版を参照しました。下表は、ガイドラインにより規定されている項目と本報告書の掲載ページを照合したものです。

1:ビジョンと戦略	P1、P8-9
2:報告組織の概要	本頁、P2-3、P8-9
3:統治構造とマネジメントシステム	P8-15、P26-27
4:GRIガイドライン対照表	本頁
5:パフォーマンス指標	
■経済性パフォーマンス指標	P2
■環境パフォーマンス指標	P24-25、P28-31
■社会的パフォーマンス指標	P20-23

・この対照表は、当ガイドラインについて当社の解釈に基づいて作成しています。  
・当ガイドラインは、下記アドレスから入手できます。  
<http://www.globalreporting.org/guidelines/2002/2002.Japanese.pdf>

編集方針

私たち日本ユニシスグループは、「ITが人と社会にできること」をテーマに、CSR活動を長年にわたって行ってきました。このたび、CSR報告に対する社会的要請を受け、また、お客さま満足のためなる向上を目指し、社内CSR体制の統合化を図ると同時に、昨年度までの「環境報告書」の内容にCSRの要素を加え、拡充・再編集を行い、本「CSR報告書」を作成しました。

本報告書には、日本ユニシスグループのCSRへの考え方や、2004年度のCSR活動内容が記載されています。日本ユニシスグループを支えていただく多くのステークホルダーのみならず、私たちのCSRへの取り組みや目標および活動状況をご報告し、コミュニケーションをより強固にしていくことができると願っています。今後の活動と本報告書の改善を図っていくためにも、是非ともみなさまのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

今後は、より読みやすい報告書となるように努めながら、毎年1回定期的に発行していく予定です。

報告書に関するお問い合わせ先

日本ユニシス株式会社CSR推進室  
〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1 TEL.03-5546-5757 FAX.03-5546-7819  
<http://www.unisys.co.jp/csr/> の「CSRお問合せ」をご利用ください。

報告書概要

●対象期間

本報告書は、原則として2004年度(2004年4月～2005年3月)の日本ユニシスグループのCSR活動について記載しています。初めて作成したCSR報告書であることから、過年度の活動や2005年度に開始した取り組みについても必要に応じて取り上げています。

●対象範囲

日本ユニシスと日本ユニシスグループ(ユニアデックス、日本ユニシス・ソリューション、日本ユニシス・エクセリションズ、国際システム、日本ユニシス・ラーニング、日本ユニシス情報システム、日本ユニシス・サプライ、エイタス、トレードビジョン、ユーエックスビジネス、日本ユニシス・ビジネス、日本ユニシス・アカウンティング、NULシステムサービス・コーポレーション)を対象として記載してあります。ただし、対象企業全ての事業所の情報を網羅しているわけではなく、各社の本社をはじめ主要な事業所を対象としています。

●対象読者

お客さま、株主・投資家、従業員をはじめ、取引先、NPO(非営利組織)、教育機関など日本ユニシスグループの幅広いステークホルダーの方々を想定しています。

●次回発行予定年月

次回の報告は2006年7月を予定しています。